

みんなの図書館

町立図書館 ☎0234-43-3039
 分館(狩川公民館内) ☎0234-56-3308



一般向 新刊案内



『**とわの庭**』 (小川糸)
 帰って来ない母を<とわ>は一人で待ち続ける。ピアノの音、手製の雑巾、犬のジョイ。そして草木や花々、鳥の声。生命の力に支えられ、光に守られて生き抜く少女を描く。(新潮社)

- ・『寂聴残された日々』(瀬戸内 寂聴)
- ・『一橋桐子<76>の犯罪日記』(原田 ひ香)
- ・『復讐の協奏曲(コンチェルト)』(中山 七里)
- ・『アンダークラス』(相場 英雄)
- ・『コーチ』(堂場 瞬一)
- ・『お探し物は図書室まで』(青山 美智子)
- ・『野菜たっぷり大量消費レシピ304』(阪下 千恵)
- ・『シニア世代の食材冷凍術』(本多 京子)
- ◎『ひとり酒、ひとり温泉、ひとり山』(月山 もも)

News 図書館からのお知らせ

★Xmasブックウィーク開催！
 【12/12(土)～12/25(金)】
 詳細は6ページをご覧ください。

児童向 新刊案内

『ぼうしくんのクリスマスプレゼント』



(新井 洋行/作・絵)
 クリスマスの夜。ぽつんと置かれた、ぼうしくんのところへ、動物たちがやってきます。ぼうしくんは、動物たちにクリスマスプレゼントをあげることにしたのですが…。(KADOKAWA)

- ・『こたつうし』(かわまた ねね/作, 長谷川 義史/絵)
- ・『すずめのうんどうぼうしつくります』(西本 鶏介/作, 黒井 健/絵)
- ・『ウイルスって何だろう?』(武村 政春/監修)
- ◎『すみっコぐらしきょうはなんの日?』(サンエックスキャラクター/監修)



今月のおすすめ本

手にとって開いてみてください！仕掛け絵本

『クリスマスって なあに』



(ディック・ブルーナ/作, ふなぎき やすこ/訳)
 イエス・キリストの誕生の物語を通して、クリスマスの本当の意味をやさしく伝える、ディック・ブルーナによるクリスマスのしかけ絵本。(講談社)

- ・『Ketchup on your cornflakes?(コーンフレークにケチャップ?)』(Nick Sharratt) ※英語の絵本
- ・『日本』(アン・スミス/え, ジャスティン・ボウマン/やく)

ぼうしくんのクリスマス

ば ぼ ん

文・絵 樋渡 浩さん

私たちが兄弟は母から「早くバボさ(に)はれ(入れ)」、「バボでほごんな(騒ぐな)」などと言われて育った。
 バボは風呂を言うおらほの幼児語だが、その家でしか通じないと言う意味で、家内語と言いたいことばも時折ある。
 亡妻は「さあ、バボンだよ」と言って娘や倅を風呂に入れた。ところが、孫たちは幼いとき「パパ、早くタッボンに入ろう」と父親にせがんでいたのである。バボンがタッボンに変わったのは嫁が風呂をタッボンと呼ぶ

家庭で育ったからである。
 初めてその言い方を聞いたとき、浴槽にバボンと飛び込むより、タッボンと身を沈める方が女の子らしくいいと思ったのであった。上の孫は女の子である。友人の家ではバボヤンと呼んでいるし、吹浦にはアポンという入浴施設があるが、これらの風呂の呼び方は動く湯の漢字を表す擬音から来ていると捉えている。
 幼児語にはチリンチリン(ベルの音から自転車)、ブツブ(警



笛の音から自動車)、チョコキヨキ(使うときの音から鉄)、ワンワン(鳴き声から犬)など擬音語からきているものが多い。